

マイクロチューブとめん棒を使っただ液の実験(中2)

★1個4円ぐらいです。



★マイクロチューブに目盛りがついているので、デンプン溶液をスポイトで1 cm³ところまで入れました。少ない量でできます。



★だ液の採取にめん棒を使うのは牧野先生に教えていただきました。

★めん棒だと、生徒達が抵抗なくだ液の採取をしていました。

(この実験の前に、ヒトのほおの内側の細胞の観察をしたので、めん棒を口に入れることに抵抗がなくなっていることも理由の1つです)



だ液を含んだめん棒を、チューブに入れて、そのまま混ぜるだけなので、簡単にできます。

(めん棒をとり出すときに、綿の部分をチューブにあてて、しぼった方がいいです)



★ふたを閉じると50cm³の
ビーカーにポイポイと
入れられます。
(対照実験として、水をめん棒に
ひたして、だ液と同じようにし
ています→C・D)



★ヨウ素液を入れた後、ふたを閉じてよく混ぜます。



★ベネジクト液を入れてよく混ぜた後、試験管に入れかえて、加熱します。



もう1つの方法として

★ビーカーに沸騰したお湯(80°C以上)を入れ、ベネジクト液を入れた容器C・Dを温めます。3分から5分で色の変化が確認できます。



もったいなければ、繰り返し使用できます。